

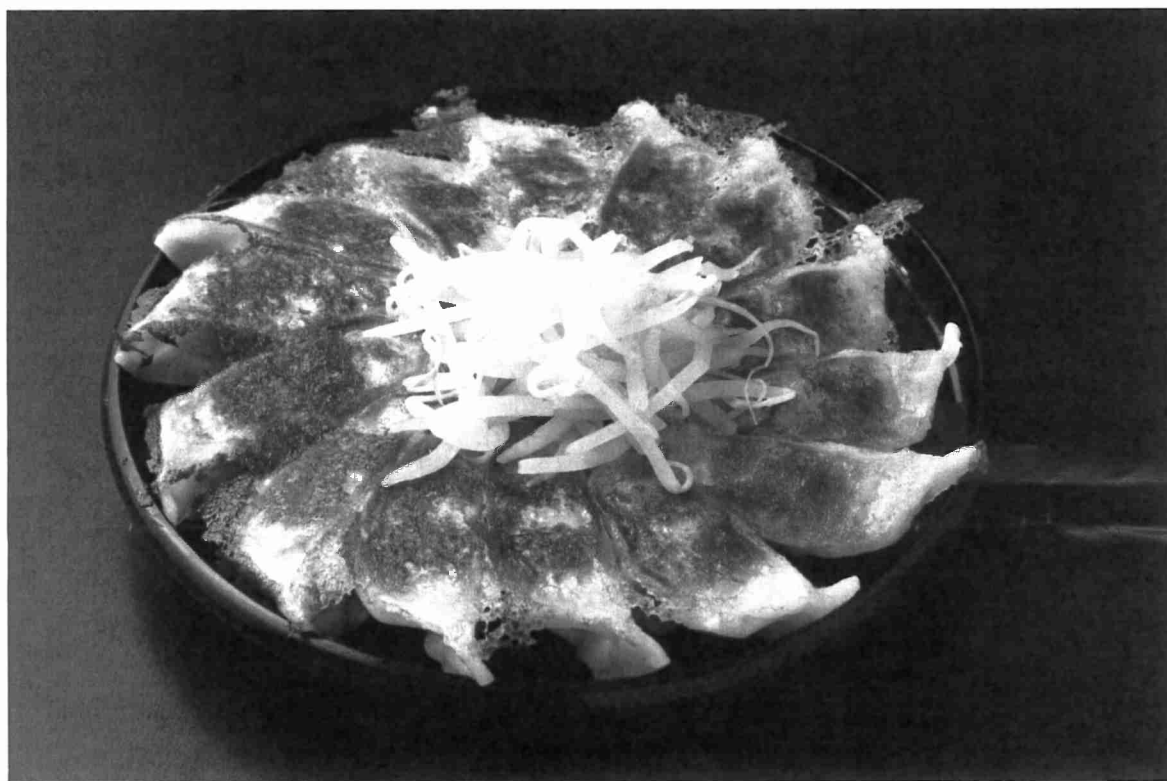
ぜんぎょうじ
善巧寺報

10 月号

東京教区 埼玉組

月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚



茹でもやしが載っている「浜松餃子」を是非召し上がってみて下さい。

▼二〇二五年十月一日▲

東京教区の名品・特産品 ～ 静岡西組 模型産業 ～



善巧寺 報恩講

他力安心を与えて下さる仏の真心を開顕下さった親鸞聖人のご恩に報いる浄土真宗で最も大切な法要です。お繰り合わせの上、ご参拝下さい。

十月十九日(日)

十一時 法要 (於本堂)

『正信念仏偈』

ひきつづきご法話

「親鸞聖人が

お伝え下さったこと」

住職 榎本明覚

十二時十五分 終了

ひきつづき報恩堂報恩講(荒天時中止)

※お斎を召し上がられる方は、会館

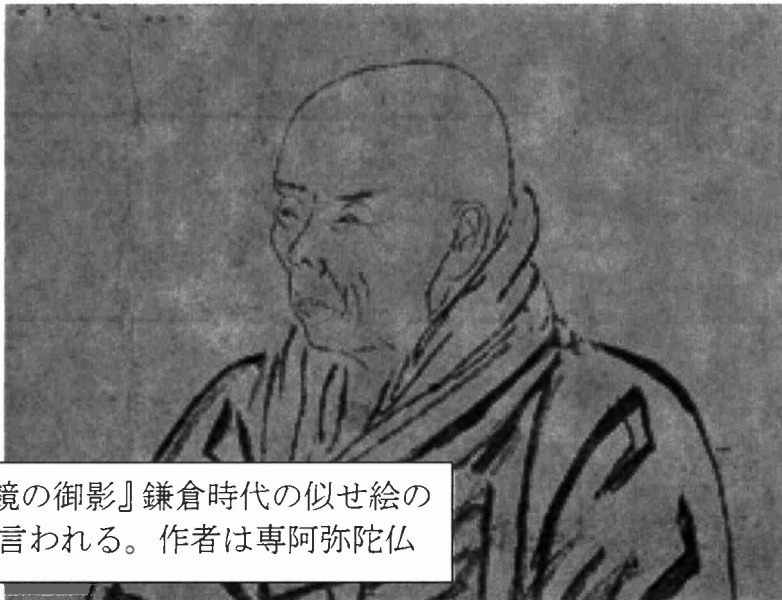
をご利用下さい。

※準備の都合上、同封のハガキに出欠

の有無をご記入いただき、十月十三日

(月)までにご返信賜りたくよろしくお

願い申し上げます。



国宝『鏡の御影』鎌倉時代の似せ絵の傑作と言われる。作者は専阿弥陀仏

善巧寺第二代坊守
善称院釋紀乗
一周忌法要

○昨年、齢八十四で亡くなれた善巧寺第二代坊守善称院釋紀乗(俗名榎本紀子)一周忌法要を、お寺を守り抜かれた生前のご尽力に感謝しつつお勤め致します。

期日 十月十九日(日)

午後一時三〇分

報恩講お斎後

場所 善巧寺本堂

・勤行 讚弥陀偈作法

・住職挨拶

・午後二時終了

(終了後、茶話会)

定例法座

毎月
十一日

◎十月十一日(金)午後二時

～四時

於法輪会館

「三業惑乱、その顛末」

江戸時代中期に本願寺(お西)

で起きた教義論争を「三業惑乱

(さんごうわくらん)」と言います。

当時の西本願寺の学問トップで
ある能化(のうけ)職にあった功

存が著した『三業帰命弁』の説

を継いだ智洞が全国的にこの説

を流布し、古くから親鸞聖人の

他力信心を守り継いできた人々

と対立してしまいました。三業

とは、私たちの身・口・意の働

きを表し、身には合掌礼拝の姿

勢・口には南無阿弥陀仏の称

名・意(こころ)には阿弥陀仏に助

けて下さいと懇願する気持ちが無ければならないと説いたので

浄土真宗に帰すれども

真実の心はありがたし

虚仮不実のわが身にて

清浄の心もさらになし

『正像末和讃』

と親鸞聖人は著されましたが、

真のこころを凡夫が作り上げる

必要があるような学説は明らか

に矛盾しています。西本願寺は

三業派と古義派に真つ二つに分

断されてしまいました。本山に

抗議に行こうとする集団も現れ、

社会不安につながる恐れを抱い

た幕府はこれに介入する事にな

ります。寺社奉行 脇坂安董(わ

きさかやすただ)は、東本願寺の

名学僧 香月院深励 とも親しく

仏教に詳しくあったため、精緻な

取り調べを行いました。最終的

には三業派の説は異安心(異端)

として審判され、智洞は八丈島

へ遠流(獄中で亡くなる)、西本願

寺は一〇〇日間の閉門が言い渡

されたのでした。安芸の大瀛(だ

いえい)和上は病を押して江戸

での論戦に臨み、築地で亡くな

ります。築地本願寺には今もそ

の石碑が残り、祥月命日には墓

前法要が営まれています。

◆春日部だより◆◆

◎今年も長い夏となりました。お彼岸
のお参りでお迎えくださった皆様に
感謝いたします。

◎みほとけ会十月は、ZOOMミーテ
ィング。第一、第三木曜日午後八時